



R05.09.16 / 聖隷クリストファー大学
第14回せいい看護学会 学術集会 シンポジウム

ふくろい産業
イノベーション
センター

ふくろい産業イノベーションセンター ニュースレター Vol.18

発行日：令和5年9月21日（木）

発行者：ふくろい産業イノベーションセンター事務局

医療看護現場の課題解決を通じた価値創出 ～異業種連携の新たな仕組みづくり～に向け議論

「異業種コラボレーションと私たちの看護の未来」をテーマとする「第14回せいい看護学会 学術集会」が開催され、本センターからも小笠原センター長等が参加。様々な関係者と意見交換等を行いました。シンポジウムでは、小笠原センター長が登壇し、現在本センターで進めている「医療介護現場アイデアものづくりプロジェクト」の取組を紹介するとともに、「患者やそのご家族、医療看護関係者、地域企業の皆が“ともにHAPPYとなる”異業種連携の在り方」について、各パネリストがそれぞれの“想い”を踏まえ、熱心に意見を交わしました。

また、交流集会には、医療看護関係者に加え、地域企業や金融機関等も参加。医療看護現場の抱える課題や「異業種連携の仕組みをどのように創っていくか」について、多くの意見が出されました。



大会長
聖隷袋井市民病院
春日美千代
看護部長

シンポジウム「異業種コラボレーション～WIN・WIN・WIN～」意見要旨

●公立森町病院 津島準子 副院長兼看護部長

異業種連携を通じ、職員の発想や視野の拡大、固定概念からの脱却につなげ、より良い医療看護の提供に努めていきたい。

また、現場課題については、医療看護の職場だけでなく、広く社会全体に対して声を上げていくことで、ヒューマンネットワークの構築や新たな展開に結びつけていくことも重要。

そこに解決のヒント、糸口があると思う。



●浜松市リハビリテーション病院 奥田希世子 総看護部長

看護職員の離職防止に向け、患者のためとなるやりたい看護ができるよう、異業種の方の意見も取り入れ、積極的にチャレンジしていくことが肝要。

そのためには、現場を担う職員に対して、丁寧に説明し、根気強く進めていくこと、困りごとをはじめ、自らの考えや想いを相手方（異業種）に分かりやすく説明できる、“伝える”能力がとても大事ではないか。



●株式会社クラブ 伊藤千加良 営業本部企画部企画課 主任

医療看護現場の課題解決には、一人だけではなく、様々な関係者が相互理解の下で課題を共有し、解決方法を一緒に考えていくこと、そして何よりも「行動すること」が大切。今後も積極的にコミュニケーションをとり、一緒に取り組めるコミュニティを創っていきたい。



●ふくろい産業イノベーションセンター 小笠原敦 センター長

看護介護現場の課題は、汎用性が高いため、これを丁寧に拾い上げ、「社会変革」や「課題解決」につながる状態となる「コト」の実現に着目し、全員で価値観を共有して取組を進めること、いわゆる「デザイン思考」を持って進めていくことが必要。

また、「楽しい」という価値軸を中心に進めることで、よりイノベティブな議論となるのではないか。本センターでもそのような機会・場を積極的に創っていきたい。



交流会「異業種コラボレーションへの仕組みづくり」(株式会社クラブ主催) 意見要旨

●認知症への対応、患者の移動や体位変換、入院環境など、看護の現場、あるいは予防、医療の様々な面においても課題がある。この課題を皆で共有し、解決に向けて気軽に話し合うことができる仕組みができれば素晴らしい。



●企業が単独で製品開発を行っていくことは難しい。「ニーズ把握」と「実証」といった点で、ぜひ医療看護現場の皆さんにご協力いただければ、大変ありがたい。

また、この連携で課題を解決するとともに、新たなビジネスを生み出す仕組みができれば、個々の中小企業の持つ「強み」を発揮でき、大変有意義である。



●異業種連携の仕組みづくりには、様々な技術を持つ中小企業をはじめ、産業支援機関や学術機関、販売業者、金融機関等の協力・支援も必要である。

また、異業種による課題解決には、視野を広く持つとともに、業界特有の専門用語について、「通訳」的な役割を果たせる人材も必要ではないか。



●近年、金融機関では、顧客の課題解決に向けた相談、新製品販路拡大等の取組を重視している。地域金融機関として、販売に至るまでの支援を行っていただければと考える。

また、製品・サービスの提供、販売にあたっては、採算性に留意する必要がある。

お問い合わせ・相談窓口 ふくろい産業イノベーションセンター

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2(静岡理工科大学 やらまいか創造工学センター3階)
TEL:0538-45-0136(直通)/FAX:0538-45-0110/E-mail:shakai@sist.ac.jp